

# Mémoires 2020

第80回桜花賞(GI)優勝馬 デアリングタクト



桜花賞

## 雨中の激戦、新星が鮮やかに戴冠



▲ 満開の桜のもと、各馬が懸命にゴールを目指す。

冷たい雨にそぼ濡れる満開の桜に見守られ、無敗の女王が誕生した。

阪神ジュベナイルフィリーズをレコードで逃げ切った2歳女王のレシステンシアは、直前のチューリップ賞で3着に敗れていることもあり、1番人気ながら単勝オッズは3.7倍。6頭が単勝オッズ10倍以下という混戦模様の中、シンザン記念で牡馬を破ったサンクチュエール、前年のアルテミスステークスをメンバー中最速の上がりでも押し切っているリアアメリアを抑え2番人気に推されたのは、まだキャリア2戦、これが重賞初出走のデアリングタクトだった。



▲ 重馬場もなんのその、重賞初挑戦で桜の女王に輝いたデアリングタクト。

新馬戦の勝利に続き、リステッドのエルフィンステークスを圧勝したデアリングタクトは、そこから前哨戦を挟まず、中8週の間隔で桜花賞へと直行。経験不足は承知の上で、テンションが上がりやすい面からこれが最善だと判断した杉山晴紀調教師による選択だった。

降り続く雨で、芝はたっぷり水を含む重馬場となっていた。ゲートが開くと、フェアリーステークスを逃げ切っているスマイルカナが敢然と先頭に立つ。これに外から絡んでいくレシステンシア。意地をぶつけ合うように2頭が並んで馬群を引っ張る。1000m通過は58秒0。馬場を考えればペースは非常に速い。

直線も後続を引き離し、2頭の競り合いは続く。ぬかるむ馬場と道中のタフな流れが響き、どの馬も末脚を伸ばせない。そんな中、ただ1頭、とても届かれないと思われた後方から前に迫ったのがデアリングタクトだった。レシステンシアがスマイルカナを振り切り、ゴールまであと30mというところで、ついに捉える。2017年皐月賞のアルイン以来3年ぶり2度目のGI勝ちとなった松山弘平騎手が、興奮を隠さず力強いガッツポーズを作る。杉山調教師は2018年JBCクラシックのケイティブレイブ以来、これも2度目のGI勝ちとなった。

デビュー3戦目での優勝は、2歳戦が始まった1946年以降ではハマカゼ、ハギノトップレディに並ぶ40年ぶり3頭目の最少キャリアタイ記録。また、無敗での桜花賞制覇は2004年ダンスインザムード以来16年ぶり7頭目の快挙だった。

### 第80回桜花賞(GI)

4/12 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 雨・重 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	デアリングタクト	牝3	55	松山 弘平	杉山 晴紀	1:36.1	②	13 12
2	レシステンシア	牝3	55	武 豊	松下 武士	1 1/2	①	2 2
3	スマイルカナ	牝3	55	柴田 大知	高橋 祥泰	1 3/4	④	1 11
4	クラヴァシュドール	牝3	55	M.デムーロ	中内田充正	1	⑥	7 13
5	ミヤマザクラ	牝3	55	福永 祐一	藤原 英昭	3/4	⑦	3 8
6	サンクチュエール	牝3	55	C.ルメール	藤沢 和雄	ハナ	③	7 5
7	フィオリキア	牝3	55	藤井勘一郎	清水 久詞	1 1/4	④	15 16
8	マルターズディオサ	牝3	55	田辺 裕信	手塚 貴久	クビ	⑤	3 3
9	エーボス	牝3	55	岩田 康誠	北出 成人	3/4	⑪	10 9
10	リアアメリア	牝3	55	川田 将雅	中内田充正	クビ	④	10 9
11	チェーンオブラブ	牝3	55	石橋 脩	小笠 倫弘	3/4	⑥	18 14
12	マジックキャッスル	牝3	55	浜中 俊	国枝 栄	3/4	⑧	15 14
13	ケーブコッド	牝3	55	岩田 望来	高柳 瑞樹	1/2	⑩	14 16
14	インターミッション	牝3	55	石川裕紀人	手塚 貴久	アタマ	⑬	10 9
15	ヒルノマリブ	牝3	55	北村 友一	北出 成人	クビ	⑫	17 18
16	ウーマンズハート	牝3	55	藤岡 康太	西浦 勝一	2 1/2	⑩	7 5
17	ナイントゥファイブ	牝3	55	松田 大作	西園 正都	9	⑰	3 5
18	ヤマカツマーメイド	牝3	55	池添 謙一	池添 兼雄	1	⑫	3 3

単勝 ④420円 複勝 ⑨190円 ⑰170円 ⑳730円 枠連(5-8) 1,040円  
馬連 ⑨-⑰1,110円 馬単 ⑨-⑰1,930円 ワイド ⑨-⑰490円 ③-⑨2,880円 ③-⑰2,480円  
3連複 ③-⑨-⑰12,590円 3連単 ⑨-⑰③47,760円

ハロンタイム 12.4-11.2-11.3-11.6-11.5-11.7-12.6-13.8  
通過タイム 600m ③34.9-800m ④46.5-1000m ⑤58.0-1200m ⑥1:09.7-1400m ⑦1:22.3

#### 優勝馬 デアリングタクト

2017.4.15生 父エビファネア 母デアリングバード 母の父キングカメハメハ  
日高・長谷川牧場生産 馬主:(株)ノルマンディーサラブレッドレーシング